代表者研修会　挨拶

資産運用業協会の「代表者研修」並びに「資産運用業大会」の開催にあたり、本日、ご臨席を賜りました皆様に厚く御礼を申し上げます。

本大会はこれまで、日本投資顧問業協会と投資信託協会のもと、過去 4 回にわたり開催してまいりました。

今回は、新たに発足した「資産運用業協会」として開催する初の大会であり、通算で 5 年目という、ひとつの「節目」を迎える大会でございます。

資産運用ビジネスに携わる関係者の皆様が一堂に会し、業界のさらなる発展に向けて議論を深めていただけますこと、大変嬉しく、また心強く思っております。

本日は、この会場で行う「代表者研修」と、隣の会場で行います「ネットワーキング」ともなります「資産運用業大会」の 2 部構成を企画しております。

第一部の代表者研修におきましては、まず研修 1 として、「Japan Weeks」の初日という大変ご多忙な折、金融庁の伊藤長

官にお越しいただいております。

本日は「資産運用立国」の実現に向け、私ども資産運用業界に寄せられる期待についてご講演を賜ります。

続く研修 2 におきましては、東京大学理事・CFO の菅野様をお迎えし、アセットオーナーの視点から見た資産運用業界についてお話を伺います。

菅野様は皆様ご承知の通り、前職では運用会社の社長、そして旧、投資信託協会の副会長を務められるなど、長年にわたり我が国の資産運用業界を牽引してこられたリーダーでいらっしゃいます。

本日は、協会の会員である資産運用会社の代表者の皆様をはじめ、関係金融機関、関係団体、アセットオーナーの皆様、金融庁幹部の皆様にご出席いただいております。

さらに、先週金曜日に開催いたしました、アジア・オセアニア各国の資産運用に関わる協会の代表者が一堂に会する国際会議である「AOIFA」の会合にご参加いただいたアジア・オセアニア各国のメンバーや、海外の資産運用会社・関係団体、関係機関の皆様にも、広くご参加をいただいております。

私ども資産運用業協会は、インベストメントチェーンを構成するすべての皆様と共に歩む、「開かれた協会」を目指しております。

投資家の皆様にサステナブルで良好なリターンを提供すること、そして、投資の力を通じて企業価値の向上や社会的課題の解決に貢献すること。これらは、私ども資産運用業界に課せられた大いなる使命です。

この使命を果たすためには、個人投資家やアセットオーナーの皆様から、受託銀行、販売会社、サービスプロバイダー、そして投資先企業に至るまで、インベストメントチェーンを構成する各主体との緊密な協力と協働が不可欠です。

既に個社間におきましては、多様な投資家に対してより高度なサービスを提供すべく、あるいは自社の運用力をさらに強化するために、国内外の同業、あるいは他業態・他業種との連携が活発化しております。

私はこうした各社の取り組みを大変頼もしく思うとともに、今後もこの潮流はさらに加速していくと確信しております。

インベストメントチェーンにおける各主体との強固な連携、そ

して協調により、新たな市場を開拓し、適切で健全な競争の下で資産運用ビジネスを強化することが、「資産運用立国の実現」の鍵となるはずです。

本日の伊藤長官、ならびに菅野 CFO のご講演が、皆様の今後の経営戦略の一助となれば幸いでございます。

第二部のネットワーキングの場においては、新たなパートナーシップを育み、親交を深める有意義な機会となりますことを切に願っております。

また、業界全体として取り組む課題についてのご意見などもぜひ、私どもにもお聞かせください。

資産運用業界が、投資家やアセットオーナーの皆様、そして社会から真に信頼され、期待される存在であり続けられるよう、また、その期待に力強く応えていけるよう、皆様と共に考え、弛まぬ挑戦を続けてまいりたいと存じます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。